

令和4年度 第1回 沖縄県立青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング結果検証について)

1 開催日時

令和4年7月15日(金) 13:30~15:30

2 場所

糸満青少年の家研修室

3 出席者

(1) 委員

下地 イツ子 委員長 (沖縄県高等学校PTA連合会会長)
平野 貴也 委員 (公立大学法人名桜大学教授)
仲地 暁 委員 (学校法人佐藤学園ヒューマンキャンパス高等学校顧問)
銘苅 幸多 委員 (銘苅マネジメントオフィス代表)
三田井 裕 委員 (国立沖縄青少年交流の家・元所長)
津久井 ルリ子 委員 (日本ボーイスカウト沖縄県連盟副コミッショナー)

(2) 事務局

教育庁生涯学習振興課長、管理班班長及び主査、社会教育班班長及び社会教育主事

4 検証事項

沖縄県立青少年の家6施設(名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣)の令和3年度実績モニタリング結果検証

5 検証内容

- (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか。
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
- (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

6 検証結果

各施設の管理運営は、適切に実施されている。

7 各委員からの意見、質問等

意見等	回答
物価高騰が続くと、利用料金や人件費の増額も検討すべきではないか。	物価高騰等の特殊要因により運営に支障が出た場合は、検討していきたい。 しかし、現状として各施設とも収支が黒字となっており、そこまでには至っていない。

意見等	回答
<p>名護青少年の家の利用者意見においてW i - F i 環境を整えてほしいとあるが、他の施設は整っているのか。</p>	<p>他の施設は電波が届くので、施設の経費の中でW i - F i 環境を整えることができる。しかし、名護青少年の家については電波が届かない場所にあり、外部の工事が必要になる。</p>
<p>W i - F i が必要な理由は何か。</p>	<p>施設で研修するときに、対面（来場）型とオンライン型（Zoom）を組み合わせる実施することがある。そのときにW i - F i が必要となる。</p> <p>【他委員意見1】 ある施設でW i - F i 環境を整えたら、利用者の満足度が上がった。青少年の家もそういう時代だと思う。</p> <p>【他委員意見2】 青少年の家にW i - F i 環境を求めるものなのか。あっても良いとは思いますが、逆に無いことも含めて理解してもらい、宿泊体験してもらうことも良いのではないかと。</p>
<p>生活する中でトイレと風呂場は重要である。名護青少年の家については、長年改善されていない。他の施設も含めて、早急にトイレの洋式化、ウォシュレット導入、多機能トイレ設置、性の多様化への対応など、補正予算を組んでもやるべきである。</p>	<p>名護青少年の家については、今年度に大規模改修の実施設計、次年度に改修工事を実施する予定であり、浴室やトイレの改善に取り組みたい。また、他の施設についても、改善に努めたい。</p>

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立玉城青少年の家	対象年度	令和3年度
------	-------------	------	-------

【目次】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	2
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	4
(1) 利用実績		
1) 利用者数等（又は入居率等）		
2) 施設稼働率		
(2) 受付・接客		
(3) 広報		
(4) 情報管理		
(5) 職員研修の実施		
3. 主催事業	6
4. 自主事業	7
II. サービスの質の評価	9
1. 受入事業		
2. 主催・自主事業		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	14
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	16
1. 目標		
2. 評価結果		

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立玉城青少年の家	対象年度	令和3年度
指定管理者	一般社団法人 沖縄じんぶん考房 指定期間:2019年4月～2024年3月	所管課	教育庁 生涯学習振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	○		利用の都度、利用団体による清掃。 職員による日常清掃。	日常衛生点検簿書類等確認	適正	適切に実施されている。不衛生箇所の発見に重点を置き、巡回効率化のための日直制を導入しつつ、定期的集中清掃日を設け、施設管理係を中心に維持管理に努めている。 今後とも職員による巡回を行い、環境美化に努めること。
〈定期清掃〉	○		担当職員が分担ごとに点検、清掃を実施。委託業者により、ごみ回収を週3回、貯水槽清掃を年1回実施。利用者退所後、宿泊室の消毒を実施(次亜塩素酸水噴霧及び手拭き)。	報告書等書類確認 現地確認	適正	適切に実施されている。 今後とも施設の利用状況等を勘案の上、環境美化の実施に努めていくこと。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設職員による点検	○		1日と15日に施設管理係を中心に施設全体の定期安全点検を行っている(建物内の照明設備、空調機器、草刈り等)。	所内巡視簿書類等確認	適正	毎日の巡回を起点に課題を発見し対応する流れができています。今後とも継続し、良好な研修環境の維持に努めること。
電気設備点検		○	専門業者と委託契約締結 2ヶ月毎:1回実施。 (4/12、6/15、8/4、10/15、12/10、2/9) 年次点検:1回(10/15)	契約書、報告書等確認	適正	業者に整備点検を委託し、適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
消防設備保守点検		○	専門業者と委託契約締結 年2回実施。 機器点検:10/27 総合点検: 3/4	契約書、報告書等確認	適正	業者に整備点検を委託し、適切に実施、処理されている(指摘事項修繕済み)。
簡易水道設備点検	○	○	職員により容量を確認し、消毒用塩素を補充(不定期)。 専門業者と委託契約締結。 年1回(3/10)	契約書、報告書等確認	適正	職員による対応及び業者への整備点検委託により、適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
浄化槽設備点検		○	専門業者と委託契約締結。 月2回実施。	契約書、報告書等確認	適正	業者に整備点検を委託し、適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
ボイラー設備保守点検		○	専門業者と委託契約締結。 年2回実施 (2/16、3/18)。	契約書、報告書等確認	適正	業者に整備点検を委託し、適切に実施、処理されている(指摘事項修繕済み)。
衛生保守管理業務 (害虫防除業務)		○	専門業者と委託契約締結。 ゴキブリ等の小型害虫駆除 年2回実施 (8/12、3/14)	契約書、報告書等確認	適正	業者に整備点検を委託し、適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
貯水槽清掃		○	専門業者と委託契約 年1回実施。(3/7)	契約書、報告書等確認	適正	業者に整備点検を委託し、適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備	○	○	①警備業者と委託契約締結。 夜間は毎日17:15～8:30、土曜日・日曜日・年末年始・慰霊の日・旧盆・台風時は8:30～17:15警備員1名の常駐警備。 ②本館正面にいこいの広場側へ監視カメラを移設し、常時監視している。	契約書、 日誌等確認	適正	工事中のB炊飯棟周辺の巡回は、施工業者と調整し、適切に実施している。 今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施	○	○	実績計 1,319千円 建物付属設備、空調機器、車両、乗用草刈り機、厨房設備、浄化槽機材、ボイラー配管、消防設備、監視カメラ移設	完了届、 請求書等 確認	適正	適切に実施されている。老朽化に伴い改築が控えている施設であるが、今後とも所管課と連携しながら計画的な修繕に努めていくこと。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 0円	○		実績計 352千円 ウェブ配信機材(音響・映像)、回線速度改善通信機器(Wi-Fiルーター)	納品書、 請求書等 確認	適正	コロナ禍で急速に普及しているオンライン学習を提供できるよう取り組んでいる。今後も利用者の活動を重視した備品購入を行い、利便性の向上に努めていくこと。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
消防訓練	○		年2回実施 9/17届出 10/1実施 3/3届出 3/25実施	届出書 等、書類 確認	適正	適切に実施されている。 今後とも法令に基づく訓練を確実に実施すること。
避難訓練	○		年2回実施 10/19届出 10/27実施 3/3届出 3/15実施	届出書 等、書類 確認	適正	適切に実施されている。 今後とも法令に基づく訓練を確実に実施すること。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料徴収	○		令和3年度 徴収実績 390千円 料金徴収フロー図に基づき徴収	領収書 等、関係 書類確認	適正	金庫内金種表を整理し、適切に実施されている。今後とも所内ルールに基づき、現金管理の厳正に努めること。
実費負担等徴収	○		令和3年度 徴収実績 417千円 料金徴収フロー図に基づき徴収	領収書 等、関係 書類確認	適正	金庫内金種表を整理し、適切に実施されている。今後とも所内ルールに基づき、現金管理の厳正に努めること。

1. 維持管理業務 取組改善案	(1)～(7)全ての項目で概ね適切な維持管理が行われている。 令和3年度に新館建築工事が着工したが、新館での利用者受入開始までの間、引き続き、既存施設の維持管理及び安全対策に取り組む必要がある。
--------------------	--

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	令和2年度実績	事業計画 (目標値)	令和3年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
				前年比	計画比		
利用者実数	10,209人	33,882人	8,100人	79%	24%	緊急事態宣言を踏まえた県対処方針に基づいた利用者受入停止及び事業の中止(5月23日～7月11日、7月22日～9月30日)や事業規模の縮小等により目標値には及ばなかった。 学校団体は、日帰りの活動が多くなったため宿泊利用が減少しており、キャンプ場についても新館建設工事に伴う閉鎖によりほとんど利用できなかった。 一方でプレイホールは、目標値を超える利用があった。 今後は、多くの制限下で、既存施設の効果的な利用法を周知できるかが課題である。	
利用者延べ数	11,278人	33,882人	9,356人	83%	28%		
(利用者内訳)	学校教育	4,155人	12,482人	3,321人	80%		27%
	社会教育	1,308人	3,930人	924人	71%		24%
	その他	5,815人	17,470人	5,111人	88%		29%
利用者延べ数	14,966人	36,900人	17,018人	114%	46%		
(施設内訳)	宿泊室	858人	8,487人	1,816人	212%		21%
	研修室	1,607人	3,690人	2,746人	171%		74%
	体育館(プレイホール)	2,096人	3,690人	4,040人	193%		109%
	キャンプ場	211人	3,690人	17人	8%		0%
	その他	10,194人	17,343人	8,399人	82%	48%	
利用団体数	1,118	1,211	797	71%	66%		

※「利用者延べ数(施設内訳)」については、複数施設の利用者を施設ごとに計上しているため、「利用者延べ数(利用者内訳)」よりも多くなっている。

評価(①利用状況)	-
-----------	---

【評価基準(①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

2) 施設稼働率

	令和2年度実績	事業計画 (目標値)	令和3年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
開所日数	317日	313日	237日	75%	76%	緊急事態宣言を踏まえた県対処方針に基づいた利用者受入停止(5月23日～7月11日、7月22日～9月30日)があり、開所日数が計画比76%となった。
利用日数	290日	313日	232日	80%	74%	
利用率	91%	100%	98%	107%	98%	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)	-
-----------	---

3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
全職員が対応可能な体制の構築	○		業務日誌、不定期の所内会議を実施し、情報共有を行っている。毎日の朝礼では、執務心得の唱和を欠かさず、各自の業務予定や担当業務の進捗を発表している。	関係書類等による確認	適正	必要に応じて、所内会議を実施し、情報共有を図る等、適切に実施されている。

4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HP、新聞、館内掲示や配布物による事業等のアピールを実施	○		主催・目王事業の開催案内や参加者募集について、SNS利用、ホームページ、NHKテレビ、ラジオ沖縄、新聞、新聞副読紙への投稿、作成ポスターの館内掲示、関係機関への広報依頼、生涯学習センター「おきなわ県民カレッジ学習メニューブック」への掲載、事業開催時の閉会式での案内を実施している。	関係書類等による確認	適正	適切に実施されている。新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化に伴い、事業の内容が閲覧者に伝わるようホームページを有効活用すること。

5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報等の適切な管理を実施する	○		1.個人情報管理取扱い は規則に則り対応している。 2.朝礼等で、不定期に注意喚起を図っている。 3.個人情報に係る廃棄書類のシュレッダーによる破砕の徹底を図っている。	関係書類等による確認	適正	適切に実施されている。今後も、所内ルールの徹底や研修の実施等により全職員の意識の持続、向上に努めること。

6) 職員研修の実施

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
業務仕様書に基づく職員研修の実施		○	決算 286,740円 那覇法人会新入社員研修2名(4/15)、PW本編・水辺編1名(4/22)、PA養成講座1名(7/31～8/4)、キャンプインストラクター養成講習1名(9/18～20)、サービス介助士資格取得研修1名(10/3～4)、生涯学習コーディネーター養成講座1名(5/4)、防災介助士資格取得研修7名(11/16)、社会教育主事B講習1名(1/24～2/21)	関係書類等による確認	適正	施設の受入れプログラムの質向上を目指し、精力的に研修を実施している。また、社会教育の振興へ寄与するため社会教育主事資格についても、取得を進めている。

3. 主催事業

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
春のファミリー キャンプ ～生き ものと自然を楽し もう～(中止)	○		5月1日(土)～2日(日) →中止	5歳以上の 子どもとその 家族	20	-	-	県の新型コロナウイルス感染症緊急事 態宣言の発令により開催中止。
玉城青少年の家 プログラムサポ ート実習【入門 編】【実践編】 (中止)	○		5月21日(金) 5月22日(土) →延期 6月4日(金) 6月5日(土) →再延期 6月25日(金) 6月26日(土) →再々延期 8月21日(土) →中止	教員、教員志 望者、学童職 員、野外活動 を検討してい る団体の方	40	-	-	県の新型コロナウイルス感染症緊急事 態宣言の発令により、3度の延期の末、開 催中止を決定した。 代替案として入門編は、ホームページ上 で資料の提供、防災プログラムについて は出張対応の案内を文書にて送付した。
ストリートワーク アウトinたまぐすく ～土曜日は玉城 で運動遊び～	○		6月6日(日) →延期 10月16日(土) →延期 11月27日(土)	学童クラブ (各20名程度)	80	59	74%	本事業は、学童クラブを対象に引率指 導員のスキルアップを目指している。近隣 学童が多いため、より広域での参加団体 を増やせるかが課題である。
琉球の銭をつ くって尚泰久王 に見せにいこ う!	○		6月20日(日) →延期 8月29日(日) →延期 3月13日(日)	小学生以上	25	29	116%	本事業は、ものづくり体験と歴史学習を 融合した事業である。沖縄県立博物館、 博物館友の会、南城市中央公民館との連 携により、充実した事業となった。 参加の地元枠の取扱い方法が課題であ る。
親の学び合いプ ログラム×子ども 炊飯教室	○		7月24日(土) →延期 10月10日(日)	ひとり親世帯	50	27	54%	本事業は、ひとり親世帯を対象とした、 那覇市母子寡婦福祉会との共催で、保護 者が「親の学び合いプログラム」受講中 に、子どもたちが炊飯交流をおこなう。参 加予定人数の変動が多いことが課題であ る。
星空の魅力発見 ～ 玉城で星空 観察 (中止)	○		10月8日(金) →中止	小学生とその 保護者(未就 学児について 原則不可)	25	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大抑止期 間の受入制限のため開催を中止。代替と して簡単な事業イメージ映像を制作し配 信した。ICT活用技術を向上させることが 課題である。
介護レクリエ ーション・サポ ーター研修会	○		11月6日(土)	介護職の方、 介護に関心 のある方、介 護職を目指す 学生等	15	27	180%	本事業は、沖縄県レクリエーション協会 と連携し、介護の現場で大切なコミュニ ケーション力を向上させることを目的と している。高校生の自主参加もあり、世 代間交流へも寄与できた研修であった。 この流れを継続できるかが課題である。
歴史散歩 ①はじまりの地 (富里集落 代 替事業) ②富山区～シー サーに護られた 集落	○		①令和4年1月22日 (土) ②2月13日(日)	①中学生以上 ②沖縄県在住 の方	40	40	100%	本事業は、地域の歴史に対する理解を 深めることを目的に沖縄県立博物館・美 術館、南城市中央公民館と共催し、区民 と一般対象と、日を分けて開催した。 ①「はじまりの地は」富里区がコロナ感 染で中止したことの代替で開催した。 コロナ禍で、住民の理解を促す開催で きるかが課題である。
子どもの遊びつ くり隊～グルー プレクリエーシ ョンサポーター 研修	○		2月17日(木)	学童クラブ指 導員、公民館 職員等子ども に関わる方	25	32	128%	本事業は、子どもたちの日常に身近な 場所でレク活動をつうじた実践力向上を 目指す研修として、沖縄県レクリエーシ ョン協会と連携し開催した。 コロナ禍における非接触型のアクティ ビティを増やせるかが課題である。

学校で活かせるレクリエーション技法～学校レクリエーションサポーター研修	○		3月6日(日)	教員、教員を志す学生、子どもに関わる仕事・活動をしている方	25	14	56%	本事業は、学校職員へ向けたレクリエーション技術と学級づくりを学ぶ研修として、沖縄県レクリエーション協会と共催で開催した。 直前の参加変更に対する研修テキストの確保が課題である。
自然と史跡を歩く グスクロード健康ウォーク	○		3月21日(月祝)	①ロングコース 中学生以上 ②ファミリーコース 小学生以上の家族、グループ	100	88	88%	本事業は、近隣企業の協賛を受け施設周辺地域を歩く事業として、フードドライブ活動も組み込み、沖縄県ウォーキング協会、ストリートワークアウト沖縄との連携事業として実施した。コロナ禍においての開催方法をどうすかが課題である。
計					360	316	88%	実施8事業、中止3事業

4. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
子ども若者自立支援交流会	○		①4月24日(土) ②7月10日(土) →中止 ③令和4年1月19日(水)	子どもの貧困対策や自立支援活動に携わる方	25	17	68%	本事業は、こどもの貧困対策や自立支援活動に携わる方を対象としている。コロナによる中止もあったが、今後は、交流から派生する活動を展開できるかが課題である。
スターウォッチング入門～自由に星空に触れてみよう ～望遠鏡をのぞいてみよう	○		①5月15日(土) →中止 ②7月17日(土) →中止 ③9月17日(金) →中止 ④11月5日(金) ⑤令和4年1月14日(金) ⑥3月11日(金)	小中学生とその保護者	55	25	45%	本事業は、入門編という位置づけで、望遠鏡に触れることを軸に、少数組の家族単位で開催している。曇天でも開催しているが、観察できない実施日の内容の充実が課題である。
子どもが主役の海遊び～生き物探しとフォト・ビーチコーミング(中止)	○		7月3日(土) →中止	小学生とその家族	25	-	-	県の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により開催中止。 代替としてイメージ動画をホームページで配信した。
夏休み自然満喫キャンプ(中止)	○		8月7日(土)～8日(日) →中止	小学生4～6年生	25	-	-	県の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により開催中止。 代替としてイメージ動画をホームページで配信した。

仲村渠の稲作を学ぶ ①稲作発祥の地で田植え体験 ②稲作発祥の地で収穫体験 (①②両日も中止)	○		①8月9日(月祝) →中止 ②11月20日(土) →中止	稲作体験に興味のある家族	20	-	-	県の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により開催中止。 代替としてイメージ動画をホームページで配信した。
暗闇でフィールドドビンゴ～マジモンナイト①②(両日も中止)	○		①8月14日(土) →中止 ②9月25日(土) →中止	家族、又は引率者がいる小学生グループ	20	-	-	県の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により開催中止。 代替としてイメージ動画をホームページで配信した。
遊んで学ぶ鳥の不思議～鳥の気持ちになってあそぼう！(中止)	○		9月11日(土) →中止	小学生	15	-	-	県の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により開催中止。 代替としてイメージ動画をホームページで配信した。
野外炊飯とマジックアワーウォーク	○		10月2日(土)	小中学生とその保護者	20	18	90%	本事業は、自然に親しみ感性を育むことを目的に工事による野外炊飯制限があるなかで試行錯誤し、開催した。 コロナ対策と炊飯活動の両立が課題である。
出張！ミツバチ教室&はちみつ収穫体験	○		10月30日(土)	小学生とその保護者(未就学児について原則不可)	20	24	120%	本事業は、新垣養蜂園と連携して、ハチをつうじて自然環境について考える体験を提供する目的で開催した。150人を超える応募があるため、参加できない応募者へどう対応するかが課題である。
チーム作り、学級づくり～PAで理解するチームビルディング～	○		①11月13日(土) ②2月26日(土)	教育関係者、子どもに関わる仕事や活動に携わる方	20	15	75%	本事業は、学級などの小集団活動のチームワークについて体験をつうじて効果的に学ぶものである。イメージ動画の商業等で広報を工夫しているが、多忙な学校現場からの参加者を工夫できるかが課題である。
冬のファミリーデイキャンプ～広大な敷地で宝探しゲーム～	○		2月19日(土)	小学生を含む家族	20	14	70%	本事業は、野外調理体験、宝探しゲームなどを通じて家族の交流を図るものである。コロナの影響で、直前のキャンセルが相次いだ。 迅速にコロナ感染状況に合わせた判断を出せるかが課題である。
計					160	113	71%	実施6事業、中止5事業

2. 運営業務 3. 自主事業 4. 主催事業 取組改善案	<p>沖縄県感染防止対策認証を受けているが、コロナ禍で利用が減少した宿泊について、感染症対策に取り組みながら、さらに工夫・改善の余地がないか検討する必要がある。</p> <p>上半期の事業は、感染予防徹底対策等の要請に応える形で、中止や延期が多かったため、下半期に事業が集中した。開催にあたり、感染対策の徹底、募集定員や活動時間縮小等、一定の制限を伴うものとなったが、従来より応募が増え、コロナ禍の自粛生活のなかでも、体験活動やイベント参加を待ち望んでいる人が多数いる印象を受けた。コロナ禍における新たな事業発信として、計9本の事業動画やスライドを作成、HPやYouTubeに公開等、広報に力を入れており、今後も、時代のニーズに見合った事業に取り組んでいただきたい。さらに、SDGsの視点を事業内容に反映させながらチラシやHPでも可視化していく工夫を推進していただきたい。</p>
--	--

II. サービスの質の評価

1. 受入事業

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和2年度評価	目標	令和3年度評価			
維持管理業務 研修で利用する施設・設備・用具について	〈満足度〉99% ・とても良い65%(74票) ・良い34%(39票) ・悪い1%(1票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉100% ・とても良い78%(84票) ・良い22%(24票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S	・老朽化に伴う施設の現状について、事前の打ち合わせ時に引率者へ説明と直接の確認を行い、了承を得るよう努めていることが評価に繋がっている。 ・毎朝の朝礼前に職員で施設の清掃作業を行っており、利用者の有無に限らずチェックを行っている。 ・プレイホールは照明機器の交換が費用的に困難なため、窓際の樹木を伐木して自然光のとおりを改善した。 ・施設管理係を中心に、毎月2回の施設内の安全点検を行っており、施設の老朽化による不具合については適宜対応していることが、利用者の評価に繋がっている。	・今後も定期巡回を行い、危険箇所や修繕箇所の早期把握に努めること。 ・老朽化による改善困難な箇所の対処や配管漏水、雨漏り、コンクリート剥離の早期発見が課題である。
維持管理業務 宿泊で利用する施設・設備・用具について	〈満足度〉94% ・とても良い39%(13票) ・良い54%(18票) ・悪い6%(2票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉96% ・とても良い59%(16票) ・良い37%(10票) ・悪い4%(1票) ・とても悪い0%(0票)	S	・新型コロナウイルス感染拡大により、宿泊利用が少なく、回答率は低い。 ・利用者入所前清掃を前年度同様行い、経年劣化による修繕は確認次第対応を行ってきた。 ・また、新型コロナの感染率上昇に伴い、県の感染防止対策認証店への登録手続をおこない、各所に検温器や消毒用アルコールを設置し、利用者の安心につながっている。	・アルコールディスプレイや換気扇の設置など、安心できる利用環境の提供がなされている。 ・今後も、修繕、補修等を適切に対応し、50万円以上の修繕事案は、迅速に報告し、利用者への影響を最小に抑える対応に徹したい。
維持管理業務 浴室・トイレの施設・設備について	〈満足度〉96% ・とても良い53%(53票) ・良い42%(42票) ・悪い3%(3票) ・とても悪い1%(1票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉96% ・とても良い64%(56票) ・良い31%(37票) ・悪い6%(4票) ・とても悪い0%(0票)	S	・コロナ対策として、浴室換気扇の更新と脱衣所への換気扇の増設を実施した。 ・2Fトイレに関しては屋外設置のため、明かりに集まる虫の侵入が少なからずある。また、水圧の問題に関しては、毎年改善の声が上がるが、大規模な修繕が必要になるため、やむなく現状を事前打合せで利用者に伝えている。洋式トイレの数についても同様である。 ・普段の巡回のより利用者がいないときも必要に応じて清掃や修繕を行っているため、「きれい」や「使いやすい」など、衛生活動により満足度は高い。	・施設の老朽化による設備不良はあるが、利用者の清掃や施設職員の日頃の点検により、管理は徹底されている。 ・洋式トイレ数や浴槽が使えないことについては、度々意見が出ているが、設備上の特徴でもあるため、利用者にと丁寧の説明し、理解を得る必要がある。
	(良い意見) ・遊具等が多々あって良かった ・広々として学童内ではなかなかできないことができた ・充実している ・管理が行き届いていた (悪い意見) ・キャンプでベグの破損があった ・清掃用具が古くなっている		(良い意見) ・各部屋きれいで、子ども達も使うことができました。 ・安全に整備されていた。 ・すべてにおいてとても良かった。 (悪い意見) ・施設が古かった。 ・プレイホールが暗く感じた。 ※「とても良い」または「良い」における自由意見			
	(良い意見) ・シーツの使い方をとても分かりやすく説明していただけたので快適に過ごせた ・老朽化が目立ってはいたが、管理がきちんとされていた (悪い意見) ・クーラーがあまり効かず窓を開けても暑くて眠れない子が多くいた		(良い意見) ・感染症対策ができており使いやすいかった。 ・各部屋に検温アルコール機器や換気扇があり安心してすごせる。 ・広くてとてもよかった。 (悪い意見) ・部屋の雨漏りがあった。 ・女性部屋のコンセントが使用できなく不便に感じた。			
	(良い意見) ・きれいで使いやすかった ・特に汚れも目立たずお湯もすぐに出て満足だった ・きれいに掃除されていてよかった (悪い意見) ・全体的に良かったが、もう少し洋式が多いと助かります ・浴槽が使えない。お湯の出が悪い		(良い意見) ・子どもたちは洋式トイレが使いやすいので、しっかり完備されており使いやすい。 ・いつもきれいで使いやすい。 (悪い意見) ・水圧が少し弱く、流すのに時間がかかる。 ・浴槽を利用したかった。 ・洋式トイレを多くしてほしい。 ・虫が怖かった。			

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和2年度評価	目標	令和3年度評価			
維持管理業務	食堂の施設・設備について 〈満足度〉100% ・とても良い48%(10票) ・良い52%(11票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉100% ・とても良い48%(11票) ・良い52%(12票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂設備については例年通り概ね良好となっている。 ・現在、沖縄県の感染対策基準に沿って、座席数を削減し、各テーブルへ飛沫防止パーテーションを設置していることが、安心利用へ繋がっている。 ・食堂の利用時間や利用人数の変更など、感染症の情勢により、利用者へ不便をかけているが、食堂スタッフの配慮もあり、安心・安全な環境での食事の提供ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用人数の調整について、事前打ち合わせで丁寧に説明し、利用者への理解を促すこと。 ・稼働日数が少なくなっているが、適切な衛生環境を維持すること。
運営業務	食堂の提供するメニューについて 〈満足度〉100% ・とても良い62%(13票) ・良い38%(8票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉100% ・とても良い48%(16票) ・良い20%(4票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の内容については、バランスもとれていて評価は高い。 ・ラップの異物混入については、くずもちの下に敷いたラップが原因であり、調理過程での混入ではなかった。職員が食堂スタッフと直接確認を行い、改善する旨を確認している。 ・感染症対策として、バイキング方式ではなく、食堂スタッフが盛り付け、配膳を行っているので、細心の注意を払うように申し送りしている。 ・委託先も感染症対策を考慮した食堂運営ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー献立について、食堂スタッフとの連携を密にし、利用者の安心へつながる対応に努めること。 ・稼働日数が減少しているなかで、委託先の負担過重とならないようにするとともに、利用者の要望に応えられるように努めること。
運営業務	施設が提供する活動プログラムについて 〈満足度〉100% ・とても良い77%(33票) ・良い33%(10票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉98% ・とても良い79%(37票) ・良い19%(9票) ・悪い2%(1票) ・とても悪い0%(0票)	S	<ul style="list-style-type: none"> ・引率者との事前打ち合わせの際に、プログラムの詳細を確認し、当日の利用がスムーズに行えるよう調整を行ってきた。 ・また、優先予約団体には、主催事業「プログラムサポート実習」への参加を促し団体の事前準備のフォローを行っている。 ・今年度は、本館建替え工事に伴う活動場所の制限があり、既存プログラムを、状況に合わせて修正し提供できていることが評価に繋がっている。 ・野外プログラムは常に雨天時の代案を想定し、事前打ち合わせで調整してきた。そのなかでも、活動に不慣れた団体に苦慮することがあるため、プログラムを一覧にしたメニューブックを作成し、調整がスムーズにできるよう改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、利用環境の制限下で充実したプログラムの提供に努めること。

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和2年度評価	目標	令和3年度評価			
運営業務 電話や窓口での対応、プログラムの指導について	〈満足度〉100% ・とても良い82%(78票) ・良い18%(17票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉100% ・とても良い87%(75票) ・良い13%(11票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S	・電話問い合わせの時点から、利用者の活動内容や希望を確認し、各団体の年齢や人数など、状況に合わせた提案、対応を徹底している。また、新型コロナウイルスによる活動人数の制限など、利用に不便をかける部分についても配慮に努めてきた。 ・社員教育として、生涯学習コーディネーターとサービスマン、防災介助士を取得を促進していることで、ホスピタリティの理解が浸透してきている成果であるといえる。	・常に利用者目線を忘れず、日々変化する施設の情報共有と職員の対応力向上を図りながら、制限下での満足度を維持できるよう努めること。
運営業務 施設の利用料金について	〈満足度〉100% ・とても良い74%(66票) ・良い26%(23票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉100% ・とても良い89%(68票) ・良い11%(8票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S	・経年劣化なども見られる現状を踏まえても、施設の利用料金については毎年良い評価を受けている。他施設と比べてもリーズナブルなことに加え、教育研修施設として窓口対応や施設の清掃状況なども高評価に繋がっている。	・利用料金が安いだけでなく、施設内の清掃状況、安全管理、職員の対応などが満足度を高める重要な要素である。 ・利用料金設定の安さからだけでなく、選ばれる施設として県民に親しまれるようになるかが課題である。
運営業務 食事料金について	〈満足度〉100% ・とても良い56%(20票) ・良い44%(16票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉100% ・とても良い64%(14票) ・良い36%(8票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S	・概ね良い評価となっており、利用者満足度は高い。 ・新規の炊飯プログラムに対するメニューへの協力や、新型コロナウイルスの状況による利用人数の度重なる変更等、突発的なキャンセルにも柔軟に対応を頂いている。 ・外国人団体に対しては洋食をメインとするなどの工夫もある。 ・コロナ禍による収入減少のなか、施設の特性を理解した対応が、高評価へと繋がっている。	・今後も利用者が満足、納得できるようメニューを工夫するなど適切な料金設定に努めること。 ・急な利用キャンセルで発注食材の損失例もあったことから、所管課と連携しながらキャンセル料金の設定について検討が必要である。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
 各評価項目においてはそれぞれの満足度
 S : 90%以上
 A : 80%以上、90%未満
 B : 70%以上、80%未満
 C : 70%未満

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

II. サービスの質の評価

2. 主催・自主事業

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和2年度評価	目標	令和3年度評価			
運営業務（主催・自主事業） 事前の広報について	<p>〈満足度〉100% ・とても良い47%(75票) ・良い53%(84票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・ネットでパンフ(チラシ)も見れた。 ・わかりやすかった。 ・学校から紹介してもらった。</p> <p>(悪い意見) ・ネットイベント情報でたまたま確認した。 ・時期的に忙しい時だったので、メンバーに募集の声掛けがしづらかった。</p>	〈満足度〉90%	<p>〈満足度〉97% ・とても良い44%(96票) ・良い53%(117票) ・悪い3%(6票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・周知が職場に来ていたので情報が受け取りやすくて良かったです。 ・遠方から初めての参加で不安でしたが優しくご対応いただいたので安心しました。 ・わかりやすい広報で参加したくなった。</p> <p>(悪い意見) ・役所からのメールが4日前でたまたま休みで参加できた。 ・チラシをもらうまで聞いたことが無かった。ネットで検索しづらかった。</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると97%。</p> <p>・広報は前年度に引き続き、メディア媒体への掲載や教育事務所への投函、学童へのチラシ配布を行った。 また今年度からホームページへの掲載、SNSの活用を促進し、さらに生涯学習振興課や市町村役場へ広報協力を依頼したことで、事業の応募者数が増加した。 広報の工夫については成果がでている。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・ホームページへの掲載方法以外に、LINEやInstagramといったSNSを使った広報や、行政等へ協力を求める等、広報の工夫が必要である。 ・事業のオンライン開催も検討し、インターネットサービスを使った参加受付等、平等性を確保したうえでの運営方法に努めること。</p>
運営業務（主催・自主事業） 電話や窓口の対応について	<p>〈満足度〉100% ・とても良い73%(117票) ・良い27%(44票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・丁寧に対応してくれた ・気軽に聞くことができた。 ・初参加なので、詳しく教えてもらい安心した。</p> <p>(悪い意見) ・場所説明がなかった。</p>	〈満足度〉90%	<p>〈満足度〉100% ・とても良い65%(140票) ・良い35%(76票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・前日の電話、丁寧な案内ありがとうございました。 ・一つ一つ丁寧に教えてくれた。 ・持ちものなど電話で連絡してくれたのがよかった</p> <p>(悪い意見) 特になし</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると100%。</p> <p>接客の心構えがよくできていると言える。事業前日に参加者へ持ち物の確認や開催場所の案内等、利用者を第一に考えた対応ができています。各種の資格取得をつづいた業務理解がすすんでいる成果である。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・コロナ感染防止対策認証店の登録を受け、利用者には不便をかける対応が増えているが、引き続き、利用者には不安がないように丁寧で誠意ある対応に努めること。</p>
運営業務（主催・自主事業） 事業の内容について	<p>〈満足度〉100% ・とても良い80%(144票) ・良い20%(35票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・子どもが楽しみにしていたので、コロナ期間中に実施してくれて良かった。 ・普段はできないドキドキ体験をさせてあげられて良かった。 ・家族みんなで大変楽しかった。 ・子供の主体性、自主性が考えられていて良い ・教員向けの事業企画をありがとう。</p> <p>(悪い意見) ・ビデオが少し長かった。</p>	〈満足度〉90%	<p>〈満足度〉100% ・とても良い76%(172票) ・良い24%(54票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・笑いがあり緊張感がほぐれてよかった。 ・楽しくコミュニケーションができて良かったです。 ・めっちゃ楽しかったです。内容もですが講師の方やスタッフの方の雰囲気がよく参加しやすかったです。</p> <p>(悪い意見) なし</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると100%。</p> <p>・各事業とも、全体的な面で参加者から高い評価を得られた。 家族向けの事業だけでなく、教育者向けの事業も好評で、高い評価と参加率が得られた。 企画会議を丁寧に行い、事業目的等を全所員と共有を図ることで、進行での役割分担や活動細部の意図が理解できており、参加者へのアシストを柔軟に対応できる余裕が増えている。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・閉所や中止が相次ぐ中で事業紹介動画の作成をし、学びを止めないよう努めること。 ・工事に伴う利用制限下で、プログラム開発の検討が必要である。 ・社会教育関連団体と連携した事業や、玉城の豊かな自然を活かした日帰りプログラムの充実、生涯学習社会を支える施設としての成人向けの学習プログラムの強化に取り組んでいただきたい。 ・今後は、オンラインでの事業の需要が増えることが考えられるため、効果的な運用方法を新たに開発できるかが課題である。</p>

運営業務 (主催・自主事業)	講師の進め方について	<p>〈満足度〉100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い80%(144票) ・良い 20%(37票) ・悪い 0%(0票) ・とても悪い 0%(0票) 	<p>〈満足度〉90%</p>	<p>〈満足度〉100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い74%(167票) ・良い26%(60票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票) 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・各事業とも参加者から高い評価を得ている。外部講師だけでなく、職員が講師をする場合もあるが、事前に目的や内容、進行手順をしっかりと詰めていることから、趣旨のずれない事業展開ができています。 講師以外の所員も生涯学習コーディネーターとして、調整力、コミュニケーション力等が向上してきており、参加者のアシスト等、目配りが実践できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度は高い。 ・引き続き、外部講師による事業だけでなく、所員が連携して運営を分担する手法に努めること。 ・社会教育関連団体の活躍の場をつくり、それぞれの特性を活かした連携事業の発信に努めること。 ・体験の機会が少ない層へ浸透を図るため、媒体や見せ方の検証が引き続き課題である。
		<p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーモアある語り口で親子で楽しく聞けた。 ・適切な印象だった。 ・興味がわく進行だった。 ・子供ペースで進めてくれたので良かった。 ・仕事の中でできそうなアイデアをもらった。 ・わかりやすい <p>(悪い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間配分を考えてほしい。 ・もう少しわかりやすく。 		<p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が上手で子供達も飽きずに楽しく受講できた。 ・最初は緊張したけど講師の方も明るくて良かった。 ・分かりやすく興味深い内容でした。分かりやすかった。 <p>(悪い意見) 特になし</p>			
運営業務 (主催・自主事業)	参加費について	<p>〈満足度〉99%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い77%(137票) ・良い 22%(39票) ・悪い 1%(1票) ・とても悪い 0%(0票) 	<p>〈満足度〉90%</p>	<p>〈満足度〉100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い66%(143票) ・良い34%(74票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票) 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 今年度は、各事業とも参加者から参加しやすいまたは安すぎる金額であると評価されている。 安すぎるという評価は逆説的に内容がかなり充実しているとも取れるので、参加費の妥当性を事業毎に検討している成果である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の立場に立った参加費設定に努めていると考えられる。 ・利用者の意見を踏まえ、利用者が納得できる参加費設定に努めること。
		<p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族で参加しやすい費用でよい ・とても安い ・とてもお得だと思う。 ・内容の割にリーズナブル。 ・ちょうどよい。 <p>(悪い意見) 特になし</p>		<p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人の研修での500円の参加費は良心的だと思います。 ・安すぎる。 ・内容に比較して安いと思います。 <p>(悪い意見) 特になし</p>			
1. 受入事業 2. 主催・自主事業 総合評価 (各評価項目の平均)	1. 受入事業 〈満足度〉98.7%	<p>〈満足度〉90%</p>	1. 受入事業 〈満足度〉98.8%	評価 (②満足度)	-	<ul style="list-style-type: none"> 各事業とも参加者から高い総合評価を得られている。悪い意見もほぼ無かったことから、事業の趣旨、当日の流れなどがしっかり調整できている成果である。 プログラムだけでなく広報についても、関係団体の協力により充実してきているので、今後も、つながりを大切に、研鑽に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に適切な対応ができていますと考えられる。 ・受入事業、主催・自主事業ともにコロナ禍の状況に合わせ、安全安心を心がけ実施に努めること。 ・施設が老朽化している中で悪い意見が少なく、今後、それを維持向上できるかが課題である。
	2. 主催・自主事業 〈満足度〉100%		2. 主催・自主事業 〈満足度〉99.5%				
総合評価 〈満足度〉99.5%			総合評価 〈満足度〉99.3%				

※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)
ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「悪い」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

1. 受入事業 2. 主催・自主事業	改善に対する取り組みとして、とくに広報の手法を見直し、指導者向けの事業は、県所管課だけでなく、事業に関連する行政部署や団体へ協力依頼を積極的に働きかけている。その成果として、事業対象者への情報をピンポイントで届けられるようになり、応募者数の向上が見られる。また、SNSを利用した施設紹介や広報の工夫をすすめてきたことで、若い親世代からの問い合わせが増えている印象がある。全体として、体験の機会を広く提供するための足がかりが確立されつつあると思われる。
II. サービスの質の評価 取組改善案	今後は、青少年の家の役割の一つでもある「生涯学習センターとしての役割」を遂行するため、子ども向け事業だけでなく、一般向け、指導者向けの事業もバランスよく展開し、多くの県民のニーズに応えられるよう努めること。また、多彩な利用方法を提案するために、不登校支援の団体へのアプローチも始めており、自立支援に役立つ利用方法について検討を進めること。

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

(単位:千円)

収入項目	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項	
計	133	192	390	293%	203%		
利用料金収入	宿泊室	53	104	306	577%	294%	
	キャンプ場	30	50	3	10%	6%	
	研修室及び訓練室	19	10	20	105%	200%	
	プレイホール(体育館)	31	28	61	197%	218%	
指定管理料	42,809	42,809	42,809	100%	100%		
計	468	370	417	89%	113%		
自主事業収入	主催事業収入	64	70	78	122%	111%	
	自主事業収入	75	60	132	176%	220%	
	事業収入その他(薪代・シート代等)	329	240	207	63%	86%	
その他収入(自販機電気料等)	191	130	739	387%	568%	おきなわ宿泊事業者感染防止対策支援事業	
合計(A)	43,601	43,501	44,355	102%	102%		
(現状分析・課題)							
新型コロナウイルス感染症対策のため事業の中止、宿泊から日帰り利用への変更、利用受入停止等による利用者数の減に伴い、利用料金収入及び事業収入の減少が続いている。自主・主催事業は、広報の工夫による成果がでてきている。引き続き、コロナ禍と工事による施設機能制限下で厳しい状況は続くが、発信力強化に努め利用促進を目指す必要がある。							

(2) 支出

(単位:千円)

支出項目	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
人件費	21,800	23,300	22,585	104%	97%		
賃金	0	0	0	0%	0%		
報償費	28	80	67	239%	84%		
旅費	247	662	293	119%	44%		
計	6,927	6,772	7,137	103%	105%		
需用費	消耗品費	1,664	1,287	1,480	89%	115%	
	燃料費	261	360	216	83%	60%	
	印刷製本費	307	310	324	106%	105%	
	光熱水費	3,255	3,800	3,794	117%	100%	
	修繕料	1,439	1,000	1,319	92%	132%	
	その他(食糧費等)	1	15	4	400%	27%	
計	1,064	1,120	1,137	107%	102%		
役務費	通信運搬費	384	380	385	100%	101%	
	手数料	391	450	535	137%	119%	
	損害賠償保険料	107	129	129	121%	100%	
	火災保険料	27	18	17	63%	94%	
	自動車保険料	155	143	71	46%	50%	
	その他(広告費)		-	-	-	-	
委託料	7,111	5,900	6,029	85%	102%		
使用料及び賃借料	2,779	650	614	22%	94%		
備品購入費	390	0	352	90%	-		
負担金	10	13	12	120%	92%		
間接経費	2,043	2,800	2,455	120%	88%		
公課費	490	2,200	2,218	453%	101%		
合計(B)	42,889	43,497	42,899	100%	99%		
(現状分析・課題)							
利用者向けのプログラムガイド集の製本、急激に普及したオンライン学習に対応すべく映像等の配信機器を新たに導入する等、今後の展開を踏まえた物品調達を実施している。コロナ禍と工事により施設機能に制限はあるが、今後も予算を効果的・適切に執行する必要がある。							

2. 経営分析指標

評価指標	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B)) (単位:千円)	712	4	1,456	204%	-	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	1.6%	0.0%	3.3%	201%	-	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	0.3%	0.4%	0.9%	288%	199%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	50.8%	53.6%	52.6%	104%	98%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	16.6%	13.6%	14.1%	85%	104%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数) (単位:円)	3,803円	1,284円	4,585円	121%	357%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数) (単位:円)	3,796円	1,263円	4,576円	121%	362%	
(現状分析・課題) 老朽施設であることや、コロナ禍によりテント泊や宿泊室の利用がほとんど見込めない中、新築工事着工により野外炊飯施設の閉鎖が重なり、管理コストや負担コストが増大している。 野外炊飯に代わる防災炊き出しプログラムを展開しつつ、沖縄県感染防止対策認証を受ける等、既存の機能でできる学習環境の提供に努めている。 今後は、管理コストや負担コストの改善に向けて、魅力ある事業や提供プログラムの開発を推進に努める必要がある。						

評価(③財務状況)

-

【評価基準 (③財務状況)】

収益率 (事業収支/収入合計)

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍と新築工事による施設の機能制限下のなか困難な状況は続くが、限られた施設を最大限に活用し利用回復を目指す。 ・日帰り研修機能の強化による生涯学習センターとしての利用率向上を図るため、おきなわ県民カレッジのサテライト会場としての運営とともに、オンライン学習の配信環境を整えた。今後は地域づくり事例発表を会場とオンラインを合わせたハイブリッド型で提供する計画である。 ・社会教育関連団体との連携共催体制をより一層促進させ、提供コンテンツの充実を図っていく。 ・事業については、指導者層の育成と体験機会の増加を目指したイベント型の学びの提供を積極的に取り入れていく。また、職員のスキルアップへの投資を続け、ソフト面の充実を目指し、運営に努めていく。
----------------------------------	--

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎているかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	①利用状況	利用者数	33,882人	34,435人	34,997人	35,568人
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%
財務指標	③財務状況	収益率	0%以上	0%以上	0%以上	0%以上

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和2年度実績	事業計画(目標値)	令和3年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和4年度目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	11,278人	33,882人	9,356人	83%	27.6%	<p>緊急事態宣言を踏まえた県対処方針に基づいた利用者受入停止及び事業の中止(5月23日～7月11日、7月22日～9月30日)や事業規模の縮小等により目標値には及ばなかった。学校団体は、日帰りの活動が多くなったため宿泊利用が減少しており、キャンプ場についても新館建設工事に伴う閉鎖によりほとんど利用できなかった。一方でプレイホールは、目標値を超える利用があった。</p> <p>今後は、多くの制限下で、既存施設の効果的な利用法を周知できるかが課題である。</p>	-	<p>沖縄県感染防止対策認証を受けているが、コロナ禍で利用が減少した宿泊について、感染症対策に取り組みながら、さらに工夫・改善の余地がないか検討する必要がある。</p> <p>上半期の事業は、感染予防徹底対策等の要請に応える形で、中止や延期が多かったため、下半期に事業が集中した。開催にあたり、感染対策の徹底、募集定員や活動時間縮小等、一定の制限を伴うものとなったが、従来より応募が増え、コロナ禍の自粛生活のなかでも、体験活動やイベント参加を待ち望んでいる人が多数いる印象を受けた。コロナ禍における新たな事業発信として、計9本の事業動画やスライドを作成、HPやYouTubeに公開等、広報に力を入れており、今後も、時代のニーズに見合った事業に取り組んでいきたい。さらに、SDGsの視点を事業内容に反映させながらチラシやHPでも可視化していく工夫を推進していきたい。</p>	34,435人
	②満足度	満足度	99.5%	90.0%	99.3%	100%	111%	<p>・全体的に適切な対応ができていと考えられる。</p> <p>・受入事業、主催・自主事業ともにコロナ禍の状況に合わせ、安全安心を心がけ実施に努めること。</p> <p>・施設が老朽化している中で悪い意見が少なく、今後、それを維持向上できるかが課題である。</p>	-	<p>改善に対する取り組みとして、とくに広報の手法を見直し、指導者向けの事業は、県所管課だけでなく、事業に関連する行政部署や団体へ協力依頼を積極的に働きかけている。その成果として、事業対象者への情報をピンポイントで届けられるようになり、応募者数の向上が見られる。また、SNSを利用した施設紹介や広報の工夫をすすめてきたことで、若い親世代からの問い合わせが増えている印象がある。全体として、体験の機会を広く提供するための足がかりが確立されつつあると思われる。</p> <p>今後は、青少年の家の役割の一つでもある「生涯学習センターとしての役割」を遂行するため、子ども向け事業だけでなく、一般向け、指導者向けの事業もバランスよく展開し、多くの県民のニーズに応えられるよう努めること。また、多彩な利用方法を提案するために、不登校支援の団体へのアプローチも始めており、自立支援に役立つ利用方法について検討を進めること。</p>	90%

評価項目	評価指標	令和2年度実績	事業計画(目標値)	令和3年度実績		前年比	計画比	現状分析・課題	評価	取組改善案	令和4年度目標値
				令和3年度実績	前年比						
財務指標	③財務状況 収益率	2.9%	0	1.60%	55%	-	老朽施設であることや、コロナ禍によりテナント泊や宿泊室の利用がほとんど見込めない中、新築工事着工により野外炊飯施設の閉鎖が重なり、管理コストや負担コストが増大している。 野外炊飯に代わる防災炊き出しプログラムを展開しつつ、沖縄県感染防止対策認証を受ける等、既存の機能でできる学習環境の提供に努めている。 今後は、管理コストや負担コストの改善に向けて、魅力ある事業や提供プログラムの開発を推進に努める必要がある。	-	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍と新築工事による施設の機能制限下のなか困難な状況は続くが、限られた施設を最大限に活用し利用回復を目指す。 ・日帰り研修機能の強化による生涯学習センターとしての利用率向上を図るため、おきなわ県民カレッジのサテライト会場としての運営とともに、オンライン学習の配信環境を整えた。今後は地域づくり事例発表を会場とオンラインを合わせたハイブリッド型で提供する計画である。 ・社会教育関連団体との連携共催体制をより一層促進させ、提供コンテンツの充実を図っていく。 ・事業については、指導者層の育成と体験機会の増加を目指したイベント型の学びの提供を積極的に取り入れていく。また、職員のスキルアップへの投資を続け、ソフト面の充実を目指し、運営に努めていく。 	2%以上	
活動指標	④重点取組事項 接遇の向上	100%	95%	100%	100%	105%	朝礼での執務心得の唱和による意識の向上、朝礼前の施設清掃、日直制度による施設巡回等による施設環境の把握、職員ミーティング等で課題理解したうえでの、利用者案内を行っている。 また、自信をもって受け入れるために、外部研修を積極的に活用している。 職員の定着を図り、より適切な接遇を継続できるかが課題である。	-	<p>接遇及び施設の現状把握は、利用者の安心安全に直接結びつくため、今後も継続して意識の向上に努めること。</p> <p>今年度からネット環境の整備に力を入れ、オンライン学習やWeb研修にも対応できるようになったが、ICTに関する知識や技術が未熟な面もあるため研修を重ね、利用者の要望に応えられるよう研鑽を重ねていくこと。</p>	95%以上	
総合評価	緊急事態宣言を踏まえた県対処方針に基づいた利用者受入停止により利用者数など目標値に届かないものもあったが、施設の管理は適正に行われている。 サービスにおいても利用者の満足度は高く、財務状況についても収益率0%以上を維持しているため、指定管理者による施設の管理運営は適切に行われている。										

【評価基準】

①利用状況

- 目標値に対する達成率
- S: 110%以上
- A: 100%以上、110%未満
- B: 80%以上、100%未満
- C: 80%未満

②満足度

- 総合評価における満足度(各評価項目の平均値)
- S: 90%以上
- A: 80%以上、90%未満
- B: 70%以上、80%未満
- C: 70%未満

③財務状況

- 収益率(事業収支/収入合計)
- A: 0%以上
- B: -5%以上、0%未満
- C: -5%未満

④重点取組事項

- 目標に対する評価
- S: 目標を大きく上回る
- A: 目標を概ね達成
- B: 目標を下回る
- C: 目標を大きく下回る

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

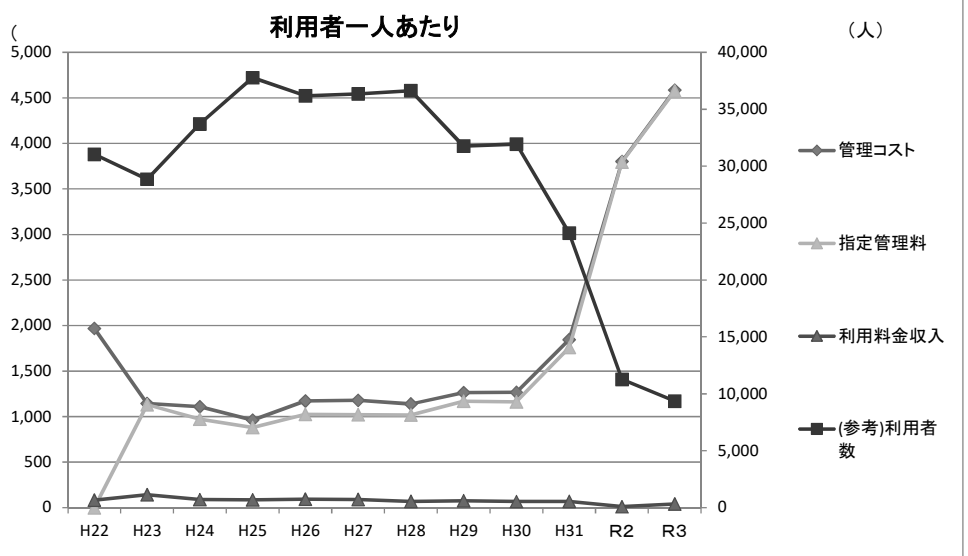
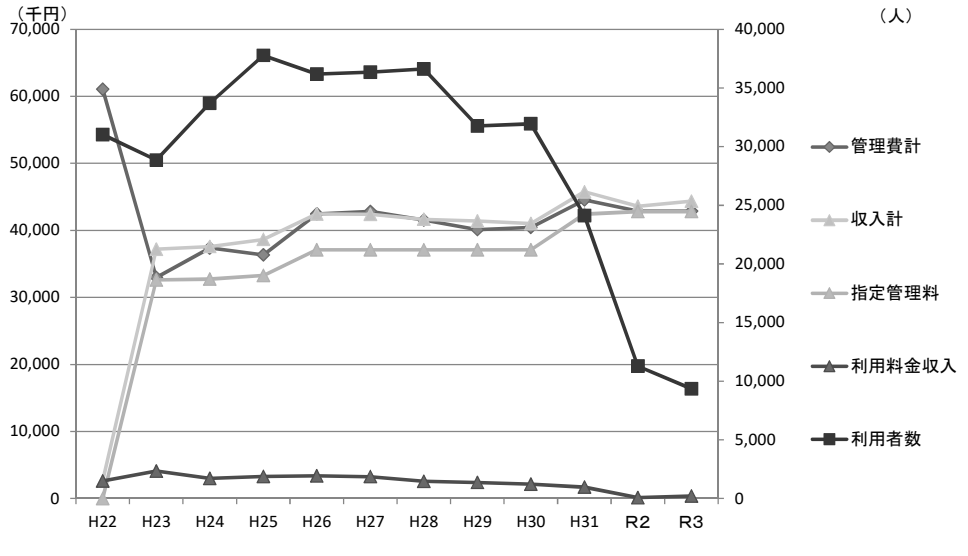
【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称: 沖縄県立玉城青少年の家

指標		単位	直営										指定管理																				
			H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4											
成果指標	利用者数	目標																	32,276	32,803	33,338	33,882	34,435										
		実績	人																	31,032	28,851	33,699	37,774	36,193	36,344	36,625	31,758	31,950	24,121	11,278	9,356		
		目標比																															
		H22比	%																														
財務指標	指定管理料	千円										0	32,617	32,726	33,272	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	
	負担割合(指定管理料/管理費)	%											98.9%	87.6%	91.6%	87.4%	86.7%	89.3%	92.5%	91.8%	95.2%	99.8%	99.8%	#DIV/0!									
	利用料金収入	千円										2,634	4,088	2,990	3,294	3,395	3,256	2,561	2,399	2,136	1,685	133	390										
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%											11.0%	8.0%	8.5%	8.0%	7.7%	6.1%	5.8%	5.2%	3.7%	0	0										
	事業収入	千円											73	89	74	142	1932	1900	1751	1553	1511	468	417										
	その他収入	千円											405	1784	1996	1814	83	75	135	224	152	191	739										
	収入計	千円											2,634	37,183	37,589	38,636	42,462	42,382	41,647	41,396	41,024	45,768	43,601	44,355									
	管理費計	千円											61,058	32,979	37,364	36,340	42,462	42,801	41,538	40,138	40,431	44,540	42,889	42,889									
	収支	千円												4,204	225	2,296	0	-419	109	1,258	593	1,228	712	1,466	0								
	収益率(収支/収入計)	%												11.3%	0.6%	5.9%	0.0%	-1.0%	0.3%	3.0%	1.4%	2.7%	1.6%	3.3%	#DIV/0!								
/単位	一人あたり管理コスト	円										1,968	1,143	1,109	962	1,173	1,178	1,140	1,264	1,265	1,847	3,803	4,584	#DIV/0!									
	一人あたり指定管理料	円										0	1,131	971	881	1,025	1,021	1,019	1,169	1,162	1,759	3,796	4,576	#DIV/0!									
	一人あたり利用料金収入	円										85	142	89	87	94	90	70	76	67	70	12	42	#DIV/0!									

※施設毎に、経営状況を分析する上で必要となる指標の加除可



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

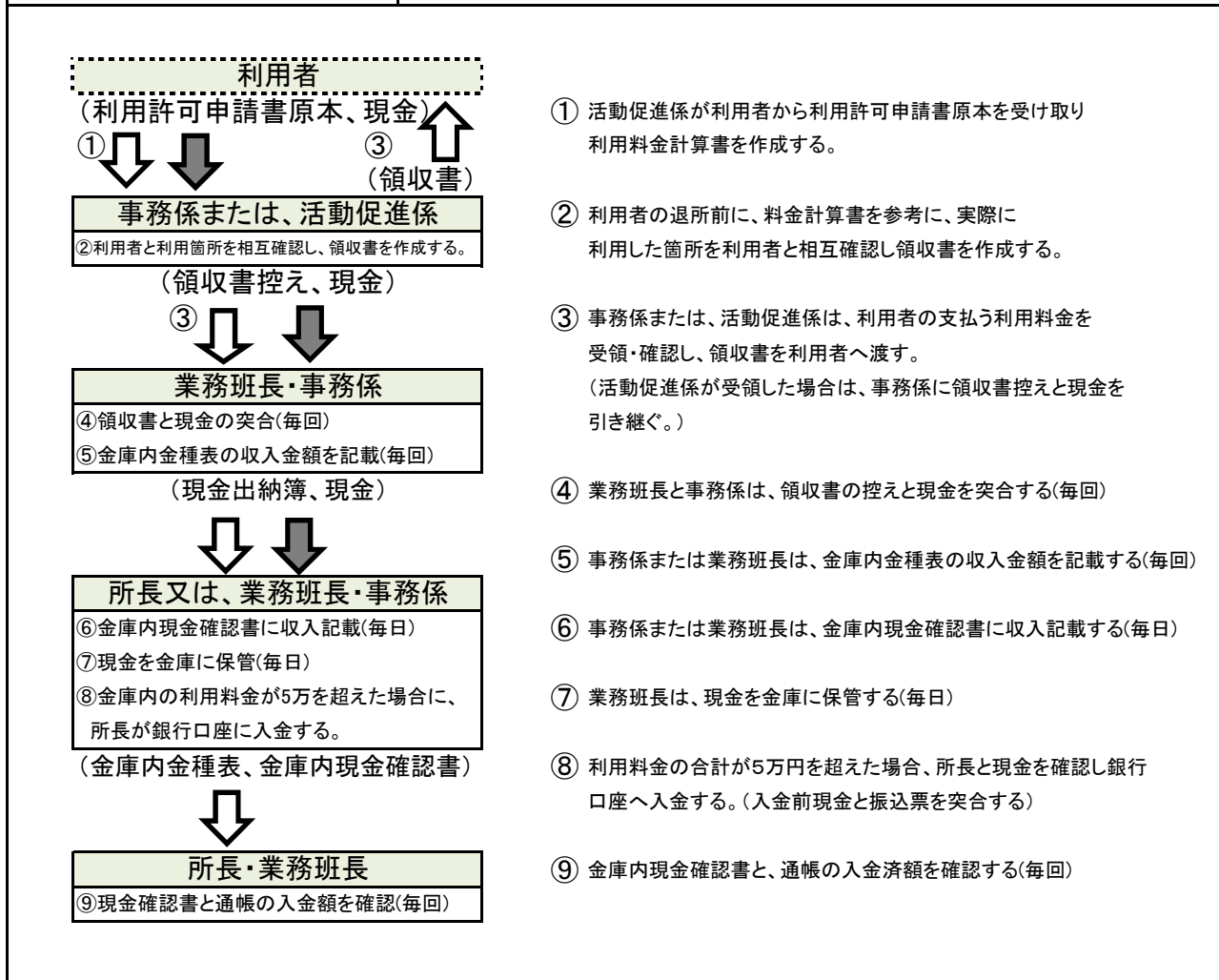
R2,3年度	利用者数の減については、新型コロナウイルス感染症対策のための利用者受入れ停止による。
H31年度	利用者数の減については、新型コロナウイルス感染症対策のための利用者受入れ停止による。
H30年度	利用料金の減については、宿泊者数の減少によるもの
H29年度	利用者数の減については、学校教育関係利用者(主に小学校)の減少によるもの

目標設定の考え方 ※目標設定の根拠や考え方などを記載

R3年度	R4年までに、過去7年間の指定管理期間の玉城青少年の家平均利用者数を目標とする。
R4年度	同上

料金徴収フロー図(例示)			
利用料金の名称	沖縄県立玉城青少年の家 施設利用料金	施設の名称	沖縄県立玉城青少年の家

フロー図	利用料金の種類と金額														
<p> …… 職員等 …… 職員以外 ➡ …… 書類等の流れ ➡ …… 現金の流れ </p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 40%;">利用料金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">宿泊室</td> <td>児童及び生徒 1人1泊につき320円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生 1人1泊につき630円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">キャンプ場</td> <td>児童及び生徒 1人1泊につき150円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生 1人1泊につき260円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研修室及び訓練室</td> <td>児童及び生徒 1室1時間につき150円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生 1室1時間につき370円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プレイホール</td> <td>児童及び生徒 1時間につき370円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生 1時間につき730円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(備考)</p> <p>1 「児童及び生徒」とは、就学前の幼児及び小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいい、「一般及び学生」とは、「児童及び生徒」に該当しない者をいう。</p> <p>2 研修室及び訓練室並びにプレイホールに係る基準額は、これらの施設を利用する団体(利用者が個人である場合に当たっては、当該個人)を単位とする。</p> <p>※利用料金の減免については、「沖縄県立青少年の家の設置及び管理に関する条例」に定めるところによる。</p>	区分	利用料金額	宿泊室	児童及び生徒 1人1泊につき320円	一般及び学生 1人1泊につき630円	キャンプ場	児童及び生徒 1人1泊につき150円	一般及び学生 1人1泊につき260円	研修室及び訓練室	児童及び生徒 1室1時間につき150円	一般及び学生 1室1時間につき370円	プレイホール	児童及び生徒 1時間につき370円	一般及び学生 1時間につき730円
区分	利用料金額														
宿泊室	児童及び生徒 1人1泊につき320円														
	一般及び学生 1人1泊につき630円														
キャンプ場	児童及び生徒 1人1泊につき150円														
	一般及び学生 1人1泊につき260円														
研修室及び訓練室	児童及び生徒 1室1時間につき150円														
	一般及び学生 1室1時間につき370円														
プレイホール	児童及び生徒 1時間につき370円														
	一般及び学生 1時間につき730円														



労働条件等自主点検表

施設名称	沖縄県立玉城青少年の家	対象年度	令和3年度
指定管理者名	一般社団法人沖縄じんぶん考房		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所に○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果																										
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません〔労働基準法（以下「法」といいます。）第15条〕</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																						
	①	2	3	4	5																						
（3～5については、改善が必要です）																											
<p>2 就業規則 就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条） また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																									
	①	作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない																						
	①	2	3	4	5																						
（3～5については、改善が必要です）																											
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">週休2日制</th> <th colspan="2">週休1日制</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <th>完全（毎週）</th> <th>月3回</th> <th>隔週</th> <th>月1～2回</th> <th>週1日</th> <th>4週4日</th> <th>4週3日以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>						週休2日制				週休1日制		その他	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	①	2	3	4	5	6	7
週休2日制				週休1日制		その他																					
完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																					
①	2	3	4	5	6	7																					
	①	2	3	4	5	6	7																				
（7については、改善が必要です）																											

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
①	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

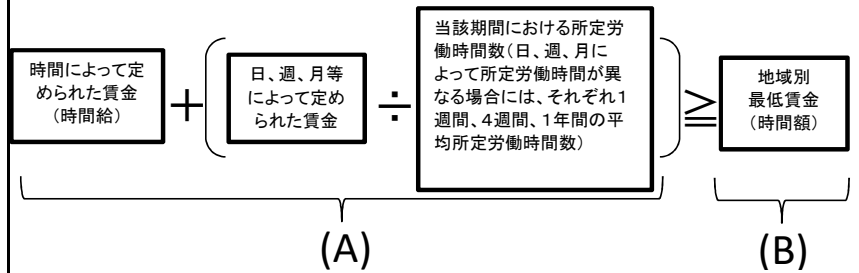
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
①	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険 加入従業員数	うち雇用保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	8	7	1

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	社会保険労務士と顧問契約を締結し、法令順守に努めている

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	経営者にあたる指定管理団体の理事のため加入ができない

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険 加入従業員数	うち健康保険 未加入従業員数	うち厚生年金保険 加入従業員数	うち厚生年金保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	8	7	1	7	1

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	社会保険労務士と顧問契約を締結し、法令順守に努めている

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	勤務時間が、週28時間のパートタイマーのため加入要件を満たしていない。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(令和4年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。